

平成29年度日高町教育長杯少年野球大会及び少年野球教室

9月16日、町営日高球場で日高町教育長杯少年野球大会実行委員会主催による「平成29年度日高町教育長杯少年野球大会」が開催されました。

大会には日高、胆振、上川管内の近隣町から4チームが参加し、日高地区の小学生が加入している日高振内ヤンキースの松本明陽主将（日高小）の力強い選手宣誓のあと、白熱した試合が繰り広げられました。日高振内ヤンキースは1回戦で占冠クラブと対戦し、一進一退の攻防を繰り広げましたが惜しくも敗退してしまいました。

また、翌17日には引き続き町営日高球場で「北海道日本ハムファイターズフィールドクラブ野球教室」を開催し、元プロ野球選手の牧谷宇佐美氏、高口隆行氏から捕球や送球、バッティングやベースランニングなど細かな指導を受け、参加した小学生38名は将来のプロ野球選手を夢見て白球を追いかけようとした。



サッカーフェスティバル「第4回日高町長杯少年サッカー大会」

9月23日、24日の2日間、森の広場サッカー場で、日高町・日高町教育委員会・国立日高青少年自然の家共催による第4回日高町長杯少年サッカー大会が開催されました。

大会には近隣町をはじめ、遠くは東神楽町などから16チームが参加し、地元エストレア.F.Cの本間大馳主将による元気いっぱいの選手宣誓のあと熱戦が繰り広げられました。エストレア.F.Cは残念ながら予選リーグ突破には至りませんでした。最後まで諦めずにボールを追いかけ続けている姿が印象的でした。



「幼児向け演劇鑑賞会」

9月27日、日高保育所で「かげえのいしとほし」による「山太のカゲエ・オモチャバコ」影絵劇を開催し、日高保育所の児童及び育児クラブの参加者など、約60名がイソップ童話から3つの物語と、影絵マジック、影絵当て遊びなどの物語以外の影遊びを鑑賞しました。

影絵劇を初めて観る子ども達が多く、薄暗い部屋と大きなスクリーンを見て、その後ろから節分の鬼が出てくると思い、始まる前に泣き出した子もいましたが、影絵劇が始まると一転、参加者は光に映し出された不思議な影絵の世界にどんどん引き込まれている様子で、会場には子ども達の笑顔と笑い声が溢れていました。



沙流川大学第5回講座「施設見学」

9月29日、沙流川大学第5回講座「施設見学」を23名の参加により開催されました。芽室町の明治十勝工場では、こだわり抜いた原料を元に、チーズが出来上がるまでの工程を学び、昼食はガーデンスパ十勝川温泉で十勝名物の豚丼や、地元の小麦粉や野菜を使った料理を堪能しました。その後は横一列になって足湯に入り、気持ちの良い時間を過ごしました。最後は音更町の柳月スイートピアガーデンで、製品が出来上がるまでの工程を見学し、教養の向上と参加者間の交流を図ることができました。



平成29年度「親子登山～樽前山」及びアクティブプログラム自然探検隊合同事業

10月1日、「親子登山事業」及び子どもの自然体験事業「アクティブプログラム自然探検隊」を合同開催し、総勢23名で樽前山登山を行いました。

当日は天候に恵まれ青空の中での登山となりました。山から見る支笏湖と景色に参加者の皆さんやスタッフも感動を覚えました。

下山後は支笏湖で昼食、散策をし、自然を満喫した楽しいひとときを過ごしました。



子どもの遊び場開放事業「ランニングバイクコース」

幼児期の体力向上を目的に実施している子どもの遊び場開放事業の一環として、日高総合体育館裏の芝生に「ランニングバイク」を楽しむ事ができる特設コースを設置しました。ランニングバイクはペダルが無く、足で漕いで前進する幼児用自転車で、バランス感覚も養えるため自転車への移行もスムーズに行うことができます。

コースを開放してからは、地元子ども達が利用し楽しまれています。初めての子どもでも利用できるよう貸出用バイク、ヘルメット、プロテクターもご用意しています。

開放時間は9時～17時までとなっております。その他ご利用に係るお問い合わせは、日高町教育委員会生涯学習課（電話01457-6-3858）までお願いいたします。

